

発行所

株式会社FPシミュレーション

大阪市中央区備後町2-4-6

Tel :06-6209-7678

編集発行人:税理士 三輪 厚二

Fax :06-6209-8145

⇩ 平成19年度査察の概要

Q : さきごろ、国税庁から査察の調査結果が公表されたそうですが、どのようになっていたのですか？

A : 過去5年間で最高の水準だったそうです。

【解説】

国税庁から公表された査察結果は、次のような内容でした。

査察に着手した件数は、220件で例年並みだったが、脱税額の総額は353億円で昨年より49億円のプラスでした。

検察庁に告発した件数は158件で、脱税額は309億円、1件当たりの脱税額は1億9,500万円でしたが、3億円以上の事案が20件、5億円以上の事案が7件で、大口事案が増加しています。

脱税額の内訳は、所得税が一番多く93億5,300万円、次いで相続税が82億1,700万円、法人税額が80億5,400万円、消費税額が43億6,900万円となっています。

所得税の脱税では、FX取引にかかる収益を申告から除外していたケースが多く見られ、消費税では、人件費を外注費として科目仮装していたものや架空の輸出免税とそれに対応する課税仕入を計上していたケースが多かったとのことです。

消費税の脱税にかかる告発件数は、30件にもなり、過去最高となっています。

